

# 伸・魅力通信

## 幼小中連携が「根っこ」と「土台」の袋井中学校の授業

袋井西小学校の小松沙矢香先生と袋井東小学校の伊藤隼人先生が、袋井中学校1日異校種体験を行いました。

### 小松先生

どの学年も落ち着いて学習に取り組んでいると感じました。単元全体の計画やつきたい力を子どもに分かるように振り返りシート等が用意されていて、子供自身がゴールを見据えて1時間1時間学習を進められるようになっていると思いました。小学校1年生、3年生で担任した子供と再会し、大きく成長した姿を見ることができたのもとてもうれしかったです。



## 伊藤先生

袋井中学校には、北小、西小、東小、今井小から集まるため、どこまでできるかと言うことがはっきりしていないと、中学校のスタートで先生方や子供たちが困ってしまうと思うので、学園内での連携が重要であることを再確認しました。また、どの授業でも友達同士の教え合いや、グループ活動を行っており、子供同士のコミュニケーションも大切にしているのだと感じました。その場面で、どの生徒も参加できているのは日々の学級経営やその都度のボイスシャワーの影響だと思うので、自分も実践してきたいです。最後に、廊下で会う生徒たちがみんな元気にあいさつをしてくれたことをうれしく思いました。

